

日 時 令和6年7月4日(木) 18時30分 ~19時30分

場 所 碓ヶ関公民館

対象地区 碓ヶ関全域

参加人数 19名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○旧碓ヶ関小学校跡地の利用について</p> <p>(市民から)</p> <p>旧碓ヶ関小学校の跡地について、利活用方法は決まっているのか。</p> <p>(市から)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・現時点で利活用方法は決まっていない。</li><li>・旧碓ヶ関小学校の校舎を解体後、地盤等を調査したが、地下水やコンクリート基礎が多く、今の状態では利用することが難しい。</li></ul> <p>(市民から)</p> <p>個人的意見としては、野生動物との緩衝地帯となっているため、今の状態のままにして欲しい。一意見として頭の片隅に入れていただきたい。</p> <p>(市民から)</p> <p>碓ヶ関小学校の跡地をグラウンドゴルフができるよう整備してもらいたい。</p> <p>(市から)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今後の参考とさせていただく。</li></ul>
<p>○旧かんぼの宿について</p> <p>(市民から)</p> <p>旧かんぼの宿が現在、獣の住みかとなっている。再三話題になっているが、いつ取り壊せるのか。進展はしているのか。</p> <p>特にアスベストが利用されている建物であるため、風下の碓ヶ関小中学校に健康被害を及ぼすかもしれない。対策はしているのか。</p> <p>また、税金の滞納になっているのではないか。</p> <p>(市から)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・旧かんぼの宿は、所有者・地権者が変わっており、追跡が困難である。また、個人の財産であるため、行政が取り壊すことはなかなか難しい。</li></ul>

- ・税の滞納について、元々の所有者から別の所有者に代わった段階で、課税の対象者が不明であることから、課税保留として、税の徴収の対象となっていない。
- ・獣の対応について、有害鳥獣は市に通報があり次第、猟友会と協力しながら安全確保に努めていく。

(市民から)

最終的には代執行するという意思はあるのか。

(市から)

- ・所有者との交渉が一切できていない状況にある。今後進展があれば、地権者ができると市ができることの棲み分けができるが、まったくの個人の資産に対し、行政が代執行するのはなかなか容易ではない。

(市民から)

アスベストが使われている建物であるため、すぐに解体する必要がある。交渉ができないういのであれば地権者に会いに行けばいい。

(市から)

- ・気持ちは理解できるが、所有者があるものを税金使って取り壊すのは難しい。地権者に会いに行けばいいとのことだが、会えるかどうか不明のため、今後検討していく。

(市民から)

地域の人のためにもアスベスト対策はすぐにでもやってもらいたい。

(市から)

- ・アスベストの対策としてどういったことができるのかも含め検討していく。

#### ○弘南バスについて

(市民から)

今までの弘南バスの路線について、湯の沢駅近くの岩淵公園に停まっていたが、道の駅までに変更され、不便になった。新しいバス停に行けない高齢者も多い。対応を検討して欲しい。

(市から)

- ・弘南バスでは昨今の運転手不足の労働時間制限対応のため、4月1日から弘南バスが運行する路線全体の一割で廃止や減便が行われた。
- ・弘前一碓ヶ関線もその一つで、碓ヶ関駅前から岩淵公園前までの停留所が廃止となり、「道の駅いかりがせき」が終点・始点となった。

- ・その対応として、市が運行している碓ヶ関・平賀線について、路線を久吉から湯ノ沢まで延伸したほか、上町にも停留場を増設した。さらに大鰐や弘前へ向かう方のために弘南バスとの接続を考慮し、時刻表の調整も行っている。
- ・昨年度は1年間で23人であった「道の駅いかりがせき」での降車が、2か月で30人を数え、弘南バスへの乗り換えがスムーズにできているものと感じており、不便をかけないような対応をしていると思っている。
- ・ただ、バス停に行けない高齢者もいるとのことなので、こういった対応ができるか実情を調べながら検討していく。

#### ○道路の修繕について

(市民から)

高田町内の市道についてひび割れしている。もともと重機が走る道路ではないが、工事で重機が行き来していた。ひび割れしたら直すよう町会より伝えていたが、工事が終了しても直す気配がない。調査をして、修繕して欲しい。

(市から)

- ・確かに市道であるが、県が発注した工事の車両が通ったことによるひび割れであるため、県が発注した工事を受注した業者が直すべき。
- ・県で業者とどういったやりとりをしているか確認する必要があるので、お調べした後日お伝えする。

#### ○ごみの収集について

(市民から)

合併直後、一般家庭ごみと事業者ごみを分けるという通知があった。しかし、事業者ごみにもかかわらず、ゴミ収集車が回収している例もある。

以前は店を営業していたため事業ごみとして出していたが、閉業したことにより家庭ごみの扱いとなった。それに伴い、ごみの収集について市役所に相談をしたが、一軒家のため収集車が収集に来るのは難しいとのことだった。現在は遠くの集積所に持参しているが、部外者のように見られて利用しづらい。

通達が守られていない。どうにかならないか。

(市から)

- ・今も家庭ごみと事業ごみを分けることになっているので、事業者に指導をしていきたい。
- ・集積所の管理は町会にお願いしているため、集積所を新たに設置する際には、町会の了承を得ている。将来的に自宅の前に集積所というものはあるかもしれないが、今すぐ対応するのは難しい。
- ・町会に加入していないとごみ集積所を利用できないと勘違いしている人が多いというのは聞いている。このことについて、都度周知していきたい。

○碓ヶ関の魅力について

(市民から)

平川市の青少年健全育成市民会議で中学生が意見発表をする場がある。多くの中学生は人間関係について発表することが多いが、碓ヶ関中学校は、今まで何人かが地域を何とかしたいといった意見発表をしている。

その中で、碓ヶ関の中学生が「魅力」という題で、少子高齢で大変というが碓ヶ関はそれだけでない、碓ヶ関の魅力を発見していきたいという趣旨の内容であった。中学生が地域のことを考えているのに大人が何もせずにいるなんてできないと思う。

大きなことはできないと思うが、地域おこしを行う若者に何とか協力をし、大人の皆さんにも協力をお願いしたいという気持ちである。

若者が頑張っているのに黙っていることはできない。こうなったのも大人の責任である。罪滅ぼしとし、地域おこしに協力していきたい。

(市から)

- ・この碓ヶ関地域の魅力を子どもたち始め、皆さんが探していただけるのであれば、ほんとに素晴らしいことではないかと思う。
- ・かつては 3,000 人近くいた碓ヶ関地域の人口も、1,935 人まで下がってきました。日本全国そうであるが、若い人が県外に出てそのまま帰ってこないというのが続いている。これを止めるのがなかなかできない。
- ・市としては、若者に市の魅力を知ってもらいたいとして、5 年ほど前から中学生、高校生、大学生や 30 歳以下の社会人を対象にユース議会を開いており、平川市のいいところを探して、事業提案をしてもらい、それを予算化して HIRAKAWA スタンド等のさまざまな事業を行っている。若い人達に自分たちの平川市のいいところを知ってもらい、県外に出た後も、平川市に住みたいと思ってもらえる子どもたちを育てていく。
- ・平川市の青少年健全育成市民会議での中学生の発言のような子どもたちの純粋な気持ちを大事にしていければと思っています。

(市民から)

若者が市外に出て、なぜ戻らないのか考えたところ、碓ヶ関には働く場所がない。他の地域は頑張っているが、碓ヶ関はなぜできないのか。他力本願ではなく、碓ヶ関だけで何かできることができないか。何か機関を作ることができないのか。

これまで長生きできたのは、碓ヶ関の皆さんと碓ヶ関の温泉のお陰である。この温泉を使って、何かできないかと考えている。

(市から)

- ・働く場については、碓ヶ関のみならず青森県内でも大きな課題であり、それらの可決方法を模索しながら、それぞれの地域の魅力探しをできればと考えている。